

令和3年(2021年)12月10日(金曜日)



三島市の川沿いを歩くと、水の透明さに驚かされる。山奥のせせらぎではなく、新幹線駅からもほど近い中心市街地。源兵衛川、御殿川、桜川…。住民が受け継いできた「水の都」だ。そんな三島の清流で育てた「ご当地米」の販売が始まった。その名も「ゆめみしま」。三島の土壌や水に合った品種を探

夢広がる「ご当地米」

し、試食と試行錯誤を重ねて4年がかりで完成した。大きな粒と豊かな甘み特徴という。先日の試食会では、早くも「日本酒を造りたい」と熱い一声が上がった。名前の通り夢は広がるばかりだが、まだ産声を上げて間もない地域のブランド米。当面の目標は、図らずも名をはせた御殿場コシヒカリに「追い付け、追い越せ」といったところか。(三島支局・金野真仁)